

平成 30 年度事業計画

本年 2 月に行われた平昌冬季オリンピック、パラリンピックでは、これまでにない日本人選手の活躍があり、明るいニュースでありました。しかし、その裏では、北朝鮮関連の外交関係については、不透明な状況が、依然として続いております。

また、我が国では、来年の天皇陛下の生前退位に伴う様々な行事や元号の改定、さらに、10 月には、消費税率 10%への引き上げが予定されており、経済への影響も先の読めない状況であります。

さて、本年 4 月には、診療および介護の報酬が同時改定され、今後の超高齢化社会に向けての、医療と介護の機能の分化、連携並びに効果的で効率的な医療介護の提供体制を構築することが一層明確に打ち出されました。これに伴い、医療機関の連携、医科歯科連携、医薬連携、医療と介護の連携等の地域包括ケアシステム構築の取組みの強化等が求められております。

【平成 29 年度の主な事業実績】

1) 健診検査事業

特定健康診査は、新発田市、阿賀野市では増加いたしました但し他の市町村で減少し、全体では微減となりました。人間ドック健診の受診者数は減少傾向であり、併せて半日ドック受診希望者の割合が増加しております。オプション項目として、新規に乳腺エコーを導入し 230 名を超えるご利用をいただきました。その他の腫瘍マーカー、甲状腺検査、BNP 検査等を実施しておりますが、導入当初は高い受診率を示すものの年々減少傾向となっております。職域健診の生活習慣病予防健診は保険者の意向もあり増加傾向ですが、反面生活習慣病予防健診へ移行した事業所があり事業所健診は微減となりました。ストレスチェックは、新規事業所の獲得で 200 名増の 4,260 名の受診者数で、インフルエンザワクチン接種も新規申し込みがあり、160 名増加の 700 名の接種となりました。

各がん検診は、乳がん検診を含めすべての項目で減少しました。子宮頸がん検診、大腸がん検診では、継続的に無料クーポン券の発行はされておりますが、微減傾向となっております。

2) 環境検査事業

事業所排水検査は微増となりましたが、下水道の普及に伴い例年同様に浄化槽検査は減少傾向となっており、その他飲料水、河川水等の検査も微減傾向となっております。

3) 臨床検査事業

医療機関受託件数は、取引医療機関の閉院等の影響から減少となりましたが、外注検査項目は増加いたしました。しかし、調理所等の職員を対象としている腸内細菌検査は、保健所からの紹介もあり増加しております。

4) 福祉事業

西デイサービスセンターは、利用定員枠を増やしたことにより、前年度並みのご利用者様を確保できました。中井デイサービスセンターでは、排水管の腐食に伴う漏水並びにボイラーの老朽化に伴う更新工事のため、営業日数が例年に比べ 1 2 日ほど減少し、大幅な減収となりました。訪問看護事業は、医療保険の利用者が増加し、介護保険利用者は減少傾向となっており、全体として利用者数は減少となりました。事業の性質上、入院、看取りなど短期利用が多く安定しないのが現状です。訪問入浴介護は、事業の性質上短期利用が多く、介護支援専門員への広報は行っておりますが、利用者は減少しております。

【平成 30 年度事業運営方針】

センター事業実施上、欠かすことのできない出務医師の確保は、依然として厳しい状況が継続しております。医師会の先生方のご協力をいただき事業を実施いたしておりますが、先生方のご負担を少しでも軽減するためにも、平成 30 年度においても、専従の医師の確保に全力を挙げて取り組んで参ります。

さらに、平成 29 年度早期のプライバシーマーク認定取得を目指しておりましたが、ようやく平成 30 年 3 月に現地審査を受け、認定の判定を待つ状況となっており、今後も確実な運用を実施し個人情報保護を進めて参ります。

また、一部健診(検診)事業において既に他の健診機関との業務連携も実施しておりますが、更なる事業の見直し、効率化を進め、経費の削減を図りながらも、顧客満足度の向上を主眼に各部署において企画、検証、改善を進めて参ります。

1) 健診検査事業

主軸である特定健康診査、人間ドック健診、生活習慣病予防健診並びに各種がん検診において、市町村並びに保険者と一層の連携を図るとともに、受診者様の掘り起しを継続して進めます。

また、受診者様並びに保険者様のニーズに合わせたサービスの提供、施設利用率の向上、健診施設の整備等の早期実施を図ります。

さらに、新規利用者の獲得を進めるためにも事業・施設の広報活動並びに渉外広報活動に力を入れて参ります。

2) 環境検査事業

入札等による価格競争で、検査価格の低迷が続いており価格競争による検査受託には限界があることから、地元ならではの迅速な対応と信頼性を確保するため、有資格者の確保や技術力の強化を図るとともに計画的な機器整備を進め、検査の迅速性と精度の向上に努めます。

3) 臨床検査事業

迅速で高精度の検査結果を提供していくためにも、計画的な検査機器の更新を図るとともに、機器リースと検査試薬の割引契約等による一層の経費節約に努めるとともに、新規受託医療機関の獲得をさらに進めます。

4) 福祉事業

西・中井の両デイサービスセンターの地域的な特色を生かしたサービスの提供を、さらに進めるとともに、当デイサービスセンターの特徴である重度の障害をお持ちの利用者様の受け入れを今後も推進するためにも、包括支援センターや介護支援専門員等の介護職種との連携をさらに図ります。

平成 30 年度も当センターを取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、我々の理念である「地域住民の健康増進と地域保健・医療並びに福祉の充実向上を図り、活力ある地域社会づくりに寄与する」を念頭に、市町村、医師会、関係機関との連携をさらに深め、今まで以上に信頼を得るセンターとなるよう事業を推進して参ります。

【事業計画概要】

1. 会議

- | | |
|-------------------|---------|
| 1) 理事会 | 6月12月3月 |
| 2) 定時評議員会 | 6月 |
| 3) 4市1町保健衛生担当課長会議 | 11月 |
| 4) 各種運営委員会 | 随時 |

2. 健診（検診）・検査等

- 1) 特定健康診査、人間ドック健診、生活習慣病予防健診、産業保健事業の推進と体制強化
- 2) 各種がん検診の推進と効率的実施
- 3) 特定保健指導、ストレスチェック、予防接種等の健康支援事業の体制強化と事業の推進
- 4) 環境検査事業の推進
- 5) 福祉関連事業の基盤強化

3. 事業基盤の整備

- 1) 学会、研修会等への積極的参加を勧め、学術の高揚及び技術の向上に努める
- 2) 調査研究活動を積極的に推進し、地域の保健、環境、福祉活動の推進に資する
- 3) 施設整備及び機器整備

【各部計画概要】

1. 総務部

(1) 庶務

- ① 県、市町村、三師会及び関係団体との連携と協力体制の強化
- ② 職員の資質向上と学術修得及び次世代後継者の育成
- ③ 施設設備の保守及び安全管理の徹底
- ④ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)の維持並びに推進

(2) 経理

- ① 健全経営のための諸策の検討
- ② 予算の適正並びに効率的運用と経費抑制及び節減の強化
- ③ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)の維持並びに推進

(3) 渉外広報

- ① 地域住民、事業所等に対する健診、予防思想の啓発普及の推進
- ② 各事業に係る市町村及び関係団体との連絡調整等の強化
- ③ 各課との連携強化
- ④ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)の維持並びに推進

(4) 情報管理

- ① 検診データの市町村との一元的管理等の推進
- ② 市町村等関係機関に対する情報の還元
- ③ 時系列データの有効利用についての検討
- ④ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)の維持並びに推進

(5) 健康増進指導事業

- ① 体操教室の充実推進

- ② 特定保健指導に係る運動指導の推進及び健康教育事業の充実・強化
- ③ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)の維持並びに推進

(6) 品質管理室

- ① ISO9001 認証事業所としての事務局
- ② 水道法第 20 条登録検査機関としての信頼性確保の強化・推進
- ③ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)事務局(監査部門)としての機能の充実と強化

2. 健診検査事業部

(1) 臨床検査事業

- ① 集配体制の強化充実と合理化及び検査体制の検討
- ② 検査項目の検討及び検査精度の維持向上
- ③ 受託業務の拡大、広報活動の強化
- ④ 臨床検査情報支援システムの活用促進
- ⑤ 精度管理のための諸策の検討と実施
- ⑥ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)の維持並びに推進

(2) 予防健診検査事業

1) 学校保健事業

- ① 学校関係者等との密接な連携の維持と向上
- ② 学校、市町村の要望に対応する検体収集体制等の強化
- ③ 心臓検診及び尿検査等の推進と精度管理の強化
- ④ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)の維持並びに推進

2) 地域保健・産業保健事業

- ① 各種健診の円滑な実施並びに受診率向上のための関係機関との連携強化
- ② 人間ドック健診の推進及び特定保健指導の推進
- ③ 人間ドック健診におけるオプション検査の充実・拡大
- ④ 特定健康診査及び、各種がん検診等の複合健診実施体制の強化
- ⑤ マルチスライスCTによる肺がん検診の推進
- ⑥ 女性特有のがん検診の推進と乳腺エコー検査の推進
- ⑦ 大腸がん検診の推進
- ⑧ 前立腺がん検診の推進
- ⑨ 生活習慣病予防健診並びに事業所健診等の拡充と産業医等との連携強化
- ⑩ ストレスチェック、予防接種事業等の健康支援事業の体制の強化と推進
- ⑪ 各種検診車輛の整備及び効率的運行の確保
- ⑫ 健診における出務医、診断・読影医の確保及び遠隔読影医体制の推進
- ⑬ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)の維持並びに推進

(3) 環境検査事業

- ① 多様化する環境検査の要望に対応する技術の強化と受け入れ体制の強化・充実
- ② 水道事業者との連携強化及び適正検査の確保
- ③ 作業環境測定事業の推進

- ④ 浄化槽法に基づく実施体制の整備と検査の推進
- ⑤ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)の維持並びに推進

3. 福祉事業

- ① 訪問看護事業の基盤強化
- ② デイサービスセンターの体制強化
- ③ 訪問入浴事業の推進
- ④ 居宅介護支援事業の推進
- ⑤ 地域包括ケアシステムにおける医療・介護連携への参画及び啓蒙普及活動の推進
- ⑥ 個人情報保護マネジメントシステム(Pマーク)の維持並びに推進

4. 受託事業（医科・歯科救急診療所）

- ① 新潟県立新発田病院及び下越支援センター薬局との連携の強化・推進
- ② 円滑な運営を図るため関係者の協力体制の確立と救急医療に対する相互理解の推進
- ③ 自然災害、人為災害、事故等の緊急事態等への対応